

学長挨拶



学長 長尾 省吾

昭和24年、香川師範学校・香川青年師範学校及び高松経済専門学校を母体として旧香川大学は発足しました。その後、昭和30年に農学部、56年に法学部、平成9年に工学部を設置、15年には旧香川大学と旧香川医科大学が統合して新しい香川大学が誕生し、翌16年、国立大学の法人化に伴って「国立大学法人香川大学」となり、現在に至っています。

香川大学憲章にもありますように、本学は、学術の中心として深く真理を探究し、その成果を社会に還元するとともに、瀬戸内圏内の中枢都市に位置する大学であることを踏まえ、学術文化の発展に寄与することを使命としています。

香川大学は、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活躍できる人材を育成しています。近年のグローバル化や情報化の進展、少子高齢化といった流れは、先の見通せない世界を創り出していますが、不確実な時代にあっても、最善の解を自ら導き出せる能力を持った人材の育成が欠かせません。

平成25年度には、社会第一線の方々を講師に、学習意欲の高い学生がもう一步先へと歩む「アドバンスト・セミナー」はじめ、留学して語学力と国際的専門知識を身につける「グローバル人材育成」、職場等の防災に役立てる「防災士養成」、読書により豊かな人間性を養う「人間探求」などの「ネクストプログラム」も開始し、一芸に秀でた人材の育成を目指しています。瀬戸内国際芸術祭に参加した学生への単位認定はじめ、フィールドワークによる社会的スキルの涵養にも力を注いでいます。

また、香川大学は、多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ、社会の諸課題の解決に向けた研究を展開しています。平成25年度には「研究戦略室」を設置し、異分野が融合した大型研究プロジェクトの開発を目指しています。

そして、香川大学は、「知」の源泉として、県や各市の政策も視野に入れつつ地域のニーズに応えるとともに、蓄積された研究成果をもとに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与しています。産学協働して地域の産業振興に資する研究開発を推進するとともに、平成24年度に香川県内3箇所（東かがわ市、坂出市、三豊市）にサテライトオフィスを開設し、地域の方々に生涯学習の場を提供しています。

さらに、四国の大学がe-Learningを活用して教育の充実を図る「e-Knowledgeを基盤とした大学教育共同実施事業」や、四国の防災危機管理人材養成拠点として「四国防災・危機管理特別プログラム」の大学院開設など、大学間連携事業にも積極的に取り組んでいます。

香川大学は、「地域の知の拠点」として、そして「地域に根ざした学生中心の大学」として、今後とも地域社会に貢献してまいります。

皆さまのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目次

プロフィール

学長挨拶	1
目次	2
理念・目標	3
沿革	4
大学憲章	5
学歌・学章(シンボルマーク)	6
組織図	7-8
役職員	9-10
香川大学の取り組み	11-12

学部・研究科

教育学部／教育学研究科	13
法学部／法学研究科	14
経済学部／経済学研究科	15
医学部／医学系研究科	16
工学部／工学研究科	17
農学部／農学研究科／愛媛大学大学院連合農学研究科	18
香川大学大学院 地域マネジメント研究科	19
香川大学大学院 香川大学・愛媛大学連合法務研究科	

施設

教育学部附属学校園	20
図書館	21
博物館	22
医学部附属病院	23-26
大学教育開発センター／アドミッションセンター キャリア支援センター	27
生涯学習教育研究センター／研究戦略室 総合生命科学研究センター	28
希少糖研究センター 微細構造デバイス統合研究センター／瀬戸内圏研究センター	29
総合情報センター／社会連携・知的財産センター 危機管理研究センター	30
インターナショナルオフィス ●国際研究支援センター ●留学生センター	31
保健管理センター／広報室／大学評価室	32
教育学部附属教育実践総合センター／農学部附属農場 瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション	33
サテライトオフィス	34

データ

役職員数	35
学生の定員及び現員	
●学部	36
●大学院	37
●教育学部附属学校園	38
単位互換協定書等の締結状況	39
平成25年度入学状況	40
入学者出身地	41
卒業生就職状況等	42
新司法試験受験状況・国家試験合格状況	43
日本学生支援機構奨学生数・施設等	44
財務状況	45
産学官連携	46

地域貢献・国際交流

公開講座	47
国際交流	
●外国人留学生、国・地域別	48
●学部別、留学生センター、研究科別	49
学術交流協定	
●大学間協定	50
●部局間協定・連携協力協定	51

キャンパス

各施設面積	52
建物配置図	53-54
施設所在地一覧	55
各施設所在地	56

理念・目標

理念

世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。

目標

▶教育の目標

豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成する。

▶研究の目標

多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ、社会の諸課題の解決に向けた応用的研究を展開する。

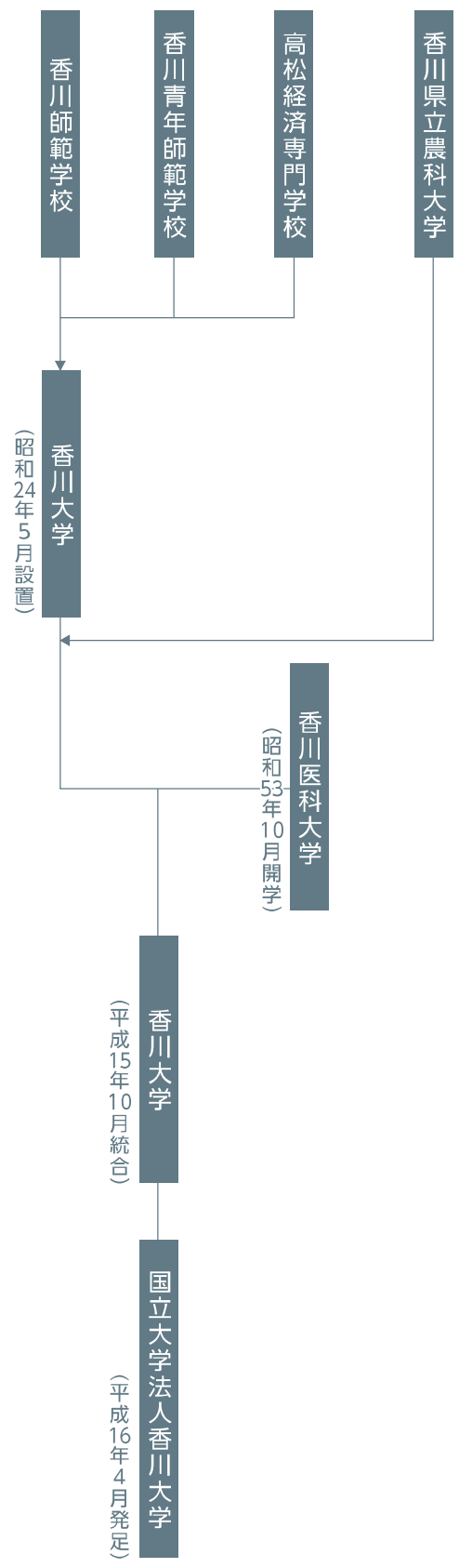
▶地域貢献の目標

「知」の源泉として、地域のニーズに応えるとともに、蓄積された研究成果をもとに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与する。



沿革

- 昭和24年5月 (1949年) 旧香川大学は、香川師範学校・香川青年師範学校を母体とした学芸学部及び高松経済専門学校を母体とした経済学部の2学部をもって発足
- 昭和30年7月 (1955年) 香川県立農科大学を国に移管し、農学部を設置
- 昭和35年4月 (1960年) 香川大学商業短期大学部を併設
- 昭和41年4月 (1966年) 香川大学学芸学部を教育学部に改称
- 昭和43年4月 (1968年) 香川大学大学院農学研究科(修士課程)を設置
- 昭和53年10月 (1978年) 香川医科大学開学
- 昭和54年4月 (1979年) 香川大学大学院経済学研究科(修士課程)を設置
- 昭和56年4月 (1981年) 香川大学法学部を設置
- 昭和58年4月 (1983年) 香川医科大学医学部附属病院を設置
- 昭和60年4月 (1985年) 香川大学大学院法学研究科(修士課程)を設置
愛媛大学に香川大学、高知大学を参加大学とする
大学院連合農学研究科(博士課程)を設置
- 昭和61年4月 (1986年) 香川医科大学大学院医学研究科(博士課程)を設置
- 平成4年4月 (1992年) 香川大学大学院教育学研究科(修士課程)を設置
- 平成8年4月 (1996年) 香川医科大学医学部看護学科を設置
- 平成9年10月 (1997年) 香川大学工学部を設置
- 平成12年4月 (2000年) 香川医科大学大学院医学系研究科
看護学専攻(修士課程)を設置
- 平成14年4月 (2002年) 香川大学大学院工学研究科(修士課程)を設置
- 平成15年10月 (2003年) 旧香川大学と旧香川医科大学が統合し、新しい香川大学開学
- 平成16年4月 (2004年) 国立大学法人香川大学発足
大学院工学研究科(博士課程)を設置
大学院地域マネジメント研究科を設置
大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科を設置



大学憲章

2007年3月26日制定

香川大学は、学術の中心として深く真理を探究し、その成果を社会に還元するとともに、環瀬戸内圏の中核都市に位置する大学であることを踏まえ、学術文化の発展に寄与することを使命とする。香川大学は、多様な学問分野を包括する「地域の知の拠点」としての存在を自覚し、個性と競争力を持つ「地域に根ざした学生中心の大学」をめざす。香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を育成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に向けて活動することを決意し、大学が拠って立つべき理念と目標を香川大学憲章としてここに制定する。

▶ 教育

香川大学は、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成する。

- (1) 明確なアドミッション・ポリシーのもとに、多様な入学者選抜を行い、向学心旺盛な学生を受け入れる。
- (2) 教育目標の達成に向けて効果的なカリキュラムを展開し、豊かな教養と高度な専門知識が習得できる教育を行う。
- (3) 先進的・実践的な教育を展開し、社会の期待に応える有為な人材を育成する。
- (4) 大学院を整備・拡充し、国際的に活躍できる高度専門職業人及び研究者を育成する。

▶ 研究

香川大学は、多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ社会の諸課題の解決に向けた研究を展開する。

- (1) 創造的な研究の萌芽を促すとともに、その応用的展開を推進する。
- (2) 重点プロジェクト研究を推進し、世界最高水準の研究拠点を構築する。
- (3) 地域の発展に資する研究を推進する。
- (4) 研究分野の融合による新たな領域を創造し、特色ある学際研究を展開する。

▶ 社会貢献

香川大学は、「知」の源泉として地域のニーズに応えるとともに、蓄積された研究成果をもとに、文化、産業、医療、生涯学習などの振興に寄与する。

- (1) 社会が抱える課題に対応した実践的提言を行い、地域の活性化に貢献する。
- (2) 地域医療の中核機関として健康増進並びに医療福祉水準の向上に貢献する。
- (3) 地域社会が求める多様な教育プログラムを提供し、知識基盤社会における学習拠点をめざす。
- (4) 諸外国との学術・文化交流を推進し、国際交流の拠点をめざす。

▶ 運営

香川大学は、自主・自律的な教育・研究・社会貢献を推進するため、透明性が高く、機能性に優れた柔軟な運営体制を構築する。

- (1) 自己点検によって組織・制度を常に見直し、社会と時代の変化に対応しうる運営を行う。
- (2) 基本的人権を尊重し、国籍、信条、性別などによる差別を排除するとともに、構成員がその個性と能力を発揮しながら職務に専念できる安全かつ公正な教育・研究・労働環境を整備する。
- (3) 運営経費の大部分が国民から付託された資金であることを自覚し、これを適正に管理かつ有効に活用する。
- (4) 個人情報の保護に努めつつ、情報を積極的に公開し、社会への説明責任を果たす。

学歌

香川大学学歌

石原一輝 作詞
 西山弘子 補作詞
 大出孝祐 作曲

一、瀬戸内の海と島々

碧き宇宙が 優しく抱く

新たな時代に 瞳を向けた

きみの理想は 世界を翔る

いま進み行け 真理を求め

香川大学 希望にあふれ

二、うち寄せる 波の飛沫は

風にさらめき 自由を語る

新たな知識の 扉を拓く

きみの努力は 自信に続く

いま進み行け 若魚のごと

香川大学 歴史に輝く

三、みどり萌え 花は清らに

愛と平和と 生命を歌う

新たな明日の 答えを探す

きみの心に 英和は満ちる

いま進み行け 翼をひろげ

香川大学 未来の中へ

はつらつと ♪ ca. 108

1. せうと ちの うちの ー のる う み との し ま じ
 2. うみ とちど うより ー え な み の は し き ま
 3. み とちど うより ー え な み の は し き ま

まはに あかあ おせい きにと うきへ ちらい うめわ がきと やじい さゆの しうち くそを いかう だたた ー ー

くるう ああから たたな なじあ だしいた のの ひとこ とびた みらえ きをき むひさ けらが

たくす ききみの のりせう ー ー はほに せじえ かしい いんち きには かつみ けづち

るくる いいま ますす すす みみゆ ゆけけ しわつ んかば

りうさ きおき ものひ とごころ ー ー めとげ かかか ががが わわわ だだだ いいが がが

くく きれみ ぼきら うしい にの あかな ふがが ーやー れくへ

学章 (シンボルマーク)



旧香川大学と旧香川医科大学が統合し、平成15年10月に、新しい香川大学として発足したのを機に、新「香川大学」の理念に応えるべく学章(シンボルマーク)を制定いたしました。

その理念・目標を表現し地球規模のグローバルな展開を示すシンボルマークを学章に、また、オリーブを産する香川の温暖な風土をイメージしたグリーンをスクールカラーに制定したものです。